

2026年7月7日(火) - 9月23日(水・祝)

休館日：月曜日（ただし7/20、9/21は開館）、7/21(火)

なつやすみ所蔵企画展 **美術の時間** つくるの視点で見る美術



ジェームズ・アンソール 《仮面の中の自画像》

メナード美術館蔵

制作年：1899年 形質：油彩、カンヴァス

サイズ：117.0×82.0cm

※展覧会の会期、内容等が変更になることがあります。
※最新の情報はメナード美術館ホームページをご確認ください。



▲公式
ホームページ

生涯に100点以上もの自画像を残したベルギーの画家、アンソール。本作は、彼の絶頂期を代表する自画像です。画家は、帽子をかぶった自画像で知られる17世紀の巨匠ルーベンスを思わせる衣装を身に着け、どこか芝居めいた様子で作品の中に登場します。不気味な仮面たちに囲まれながら、まっすぐこちらを見つめるまなざしは、世間の嘲笑に苛まれながらも自己の芸術を貫いた、画家自身の精神を象徴するかのようです。

単に似姿を描くにとどまらない幻想的な彼の作品は、人間の内面に目を向け、対象の再現によらない激しい色や形を用いる表現主義を先駆するものといわれます。

展覧会関連イベント「学芸員によるスライド・トーク」

ジェームズ・アンソール《仮面の中の自画像》について当館学芸員が詳しく解説します。

日時：9/5(土) 14:00～(約40分) *開場・受付開始は13:30～

会場：アネックス(別館) 定員：30人(当日先着)

*会期中の入館券が必要

第16回

新たな
学校づくりに向けて

北里地区の学校再編に向けた
話し合いがスタートします

ID 51757



問合せ 教育総務課 (☎ 39 - 5261)

児童生徒数の減少および学校施設の老朽化が進む中、地区の将来を展望した学校のあり方について検討するため、児童生徒の保護者や学校関係者、地域住民などからなる「学校を考える会」を立ち上げ、学校再編に関して幅広い見地から議論を頂きます。

今回、「北里地区」で考える会を立ち上げ、第1回の会を開催します。どなたでも傍聴ができるので、ぜひご来場ください。

第1回
北里地区の学校を考える会

時 7/25(土) 10:00～

所 北里市民センター講堂

定 200人